

新人議員はじめての一般質問

2025年3月にはじめて沖縄市議会での一般質問を行いました。私の公約である「子育て世代、生活者の声を議会へ」をテーマに取り組んだ議会活動についてお届けします。まだまだ未熟な議員ですが、物価高で困っている市民の生活向上のため、また、子ども達の教育環境の充実をめざして精一杯働いてまいります。



市議会 一般質問って ナ～ニ？

一般質問とは、議員が市長に対し市が行う施策について報告や説明を求めることです。議員は、市が行う教育、福祉、商工・農業振興、防災、観光等の取り組み内容や問題について、幅広く質問することができます。これに対し、市は事業の状況や課題解決のための方針を答えます。このやりとりは、市民の代表である市議が行政をチェックし、市民の要望を施策に反映させるための大切な役割を果たしています。

沖縄市議会の一般質問の様子は動画や議事録としていつでもご確認いただけます。過去の答弁も要チェック！



高江洲みどり
議会映像

給食費の負担軽減

4月から中学校の給食費半額、 沖縄市も小学校の負担軽減を

新年度から県の半額補助がスタートし、27市町村が中学校無償化。小学校も22市町村が無償化し、小学校の半額補助も広がっています。しかし、沖縄市では小学校の半額補助はありません。

3月の議会で、私は物価高が続く中、『こどものまち』沖縄市だからこそ小学生も含めた負担軽減を訴えました。花城市長の公約である『給食費の助成拡充』について質問しましたが、具体的な内容やスケジュールについての答弁はありませんでした。6月に発表される新市長による市政方針演説に期待します。

給食費の負担軽減を願うママ・パパの会で提出した請願書は、6月議会で継続審議されます。



2023年から沖縄市内の保護者で集め提出した、給食費負担軽減を求める請願書。沖縄市に保護者の声は届いていない!なぜ??

近隣の市町村の給食費 保護者負担どうなっているの？

市町村名	中学	小学
沖縄市	半額 2500円	全額 4500円
北谷町	無償 0円	無償 0円
嘉手納町	無償 0円	無償 0円
うるま市	半額 3000円	半額 2700円
北中城村	1/4 1200円	1/4 1050円

近隣で小学生の負担軽減がないのは沖縄市だけ。市レベルで、うるま、那覇、浦添、糸満、南城も小学生半額

学校給食の質と量の確保を

小学生、中学生から「給食の量が少ない」という声が度々届いています。限られた予算の中、栄養士や調理士の方々も創意工夫して頑張ってください大変ありがたいことですが、今の給食費では食材費の高騰に対応できません。給食費の改定は急務です。例えば!うるま市では2025年4月から給食費を値上げし、小学生5400円、中学生6000円になりましたが、同時に、県と市が半額補助するため、保護者の負担が軽くなりました。行政の姿勢次第で、給食の質の確保と負担軽減を実現することは可能です。子ども達の健やかな成長のために、積極的に迅速な支援を花城市長に訴えました。

放課後の子どもの居場所

学童の待機児童問題、希望するすべての子ども達が入れる環境づくりを

昨年も今年も「学童落ちた。仕事どうしよう」という保護者の不安の声がたくさん届いていたため、学童の待機児童問題について質問しました。その中で、沖縄市の待機児童数は148人(令和6年5月時点)と、3年連続で県内最多の状況であることが分かりました。多くの保護者が深刻に困っている状況についてどう受け止めているのか?との質問に、こどものまち推進部長は、「重く認識しております。(略)待機児童の解消に向けて、今後の推移も踏まえながら、関係者の意見等も聞きながら、(略)鋭意努めてまいります」と答弁。

学童クラブや自主事業クラブの運営支援

職員の長時間労働やガソリン代高騰など、学童の運営は厳しさを増しています。子ども達の大切な居場所を運営している学童クラブへの支援策の強化を訴えました。市から「重要である」との答弁はありましたが、令和7年度当初予算にはまだないため、引き続き求めていきます。また、自主事業クラブの職員が市の研修に参加できない状況のため改善を求め、「オンライン研修など職員が参加しやすい方法を検討してまいります」との答弁がありました。

美里小学校区の児童館整備について

「できるだけ早期に児童館が整備できるよう進めていきたい」と答弁。2025年4月北美小学校となり、きたみ児童館がオープンしました。初日は数名の利用だったのが、数日後には100名以上の子ども達が利用したそうです。地域の子供達にとって本当に嬉しい出来事ですね。市の計画では美里中学校区に2つの児童館を建設する計画なので、美里小学校区における子どもの居場所の必要性について議会で質問しました。こどものまち推進部長からは「子どもの数が多いことから、子どもの居場所の必要性が高い地域である。(略)財源確保や整備手法について関係各課と調整しできるだけ早期に児童館が整備できるよう進めていきたい」との答弁がありました。子ども達だけでなく、高齢者も集える複合的な施設も有効だと思います。調査し引き続き、市に要望してまいります。

子どもの居場所問題は保護者にとって、仕事が続けられるのかどうか、生活がかかっています。一日も早く待機児童が解消されるよう、引き続き、調査し議会で訴えます。あなたの声をぜひ聞かせてください。

2025年4月14日
きたみ児童館落成式
に出席しました。



松本地域の大雨災害について

1月24日に発生した浸水被害について、被害状況、県道85号線の浸水の原因と対策について質問しました。排水のための格子状の蓋に草木等がたまっていたため排水できず、道路の維持管理に原因があったとの答弁でした。住民の方から「地域が高齢化する中、地域だけでは排水溝の清掃は困難だ」との声がありました。そこで質問したところ、市としてはこれまで梅雨時期や台風前に行っていた道路パトロールを、令和7年度からは毎月行い対策を強化する、県にも維持管理を要望すると答弁がありました。また、松本都市緑地公園そばの水路について、長年繰り返し洪水被害を引き起こしていると不安の声があったため、質問。市側も「度々発生する被害」を受けて浸水シミュレーションを行い、局地的降雨等の条件が重なると冠水が発生するエリアであると認識していました。「早期改善に向けて財源確保など取り組んでまいります」と答弁。地域住民の命や財産に直接関わることなので市の早期対応を期待します。

特別職のボーナスアップは物価高の中、今優先すべきこと？

議案第234号 沖縄市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

議案の反対討論 高江洲みどり(概要)

人事院勧告に基づく職員の給与改定には賛成だが、市長、副市長、教育長の期末手当(ボーナス)の引き上げには反対だ。県内の実質賃金は減少が続く一方で、2年連続で3%台となる急激な物価高騰が続く、市民生活は大変厳しい状況。物価高騰対策として市民に4000円分の商品券を配布するという議案と同時に、市長のボーナスは約5万2千円増額という議案が出されたことに強い違和感を感じる。急激な物価高騰で厳しい市民生活の現実を考えると、この時期に特別職のボーナスを引き上げること、市民の理解は得られない、と考える。沖縄市も据え置くべきだ。

賛成多数で可決。



沖縄市都市計画審議会

都市計画審議会の委員に委嘱されました。初めて審議会に出席し、立地適正化計画について、泡瀬周辺部の人口や防災の観点から意見を述べました。2025年3月28日 都市計画審議会



議会報告会を開催



志を同じくする沖縄市の議員で結成している会派群星(むりばし)に所属し、はじめての議会報告会を行いました。